

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007 ～ 2008
 課題番号：19520234
 研究課題名（和文） コンピュータによるチョーサーの『ボエス』諸刊本の計量的比較
 研究課題名（英文） A Computer-assisted Quantitative Comparison of the Editions of Chaucer's *Boece*
 研究代表者
 地村 彰之（JIMURA AKIYUKI）
 広島大学・大学院文学研究科・教授
 研究者番号：00131409

研究成果の概要：

チョーサー（Geoffrey Chaucer）の『ボエス』（*Boece*）諸刊本のテキストデータ入力を行い、その共通点・相違点について包括的に整理するという研究計画に基づき、本研究課題を実践した。整理のためにパーソナル・コンピュータ（以下パソコンと略す）を利用し、下記のように研究を進めた。

(1) Benson 版 (*The Riverside Chaucer* (Boston: Houghton Mifflin, 1987)), (2) Robinson 版 (*The Works of Geoffrey Chaucer* (Boston: Houghton Mifflin, 1957)), (3) Skeat 版 (*The Works of Geoffrey Chaucer*, (Oxford: At the Clarendon Press, 1894¹, 1900², 1963)) のテキストデータを比較分析するために、各編集テキストの入力を終了した。それぞれのテキストが容易に比較できるようにパソコンでテキスト処理をした。つまり、各テキストの顕著な特徴をパソコンによって十分に把握することを可能にするために、まず各行が対応しているテキストを作成し、前研究（コンピュータによるチョーサーの『薔薇物語』諸刊本の計量的比較）で開発済みのテキスト比較プログラムによって一覧表を作成するところまで漕ぎ着けた。

各テキストを行単位で出力し、単語が共通するところと違うところが一目で把握できるような冊子とアルファベット順に並べた語彙のインデックスを、平成 20 年度に作成した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	2,700,000	810,000	3,510,000
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,600,000	1,080,000	4,680,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：チョーサー、『ボエス』、諸刊本、コンピュータ、計量的比較、Benson 版、Robinson 版、Skeat 版

1. 研究開始当初の背景

(1) チョーサーの *The Canterbury Tales* (『カンタベリー物語』) 諸刊本について計量的比較を行った。その成果は『コンピュータによるチョーサーの「カンタベリー物語」諸刊本の計量的比較』(平成5年度 科学研究費補助金(一般研究(C))研究成果報告書、研究代表者 地村彰之、広島大学学校教育学部)、1994.3 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)として発表した。

(2) チョーサーの *The Canterbury Tales* 諸刊本の中で、F. N. Robinson 版テキストと N. F. Blake 版テキストについて各行ごとの比較を試みた。その成果は、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」を受領して、A. Jimura, Y. Nakao and M. Matsuo, eds. *A Comprehensive List of Textual Comparison between Blake's and Robinson's Editions of The Canterbury Tales* (Okayama: University Education Press, 1995) という形で出版し公表した。

(3) チョーサーの *Troilus and Criseyde* (『トロイラスとクリセイデ』) 諸刊本について計量的比較を行った。その成果は『コンピュータによるチョーサーの「トロイラスとクリセイデ」諸刊本の計量的比較』(平成7年度-平成8年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書、研究代表者 地村彰之、広島大学学校教育学部)、1996.3 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)として発表した。

(4) チョーサーの代表作である *Troilus and Criseyde* (『トロイラスとクリセイデ』) についてもテキスト比較研究を試みた。その成果は、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」を受領して、A. Jimura, Y. Nakao and M. Matsuo, eds. *A Comprehensive Textual Comparison of Troilus and Criseyde* (Okayama: University Education Press, 1999) という形で出版し公表した。

(5) チョーサーの夢物語詩諸刊本について計量的比較を行った。その成果は『コンピュータによるチョーサーの夢物語詩諸刊本の計量的比較』(平成11年度-平成12年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書、研究代表者 地村彰之、広島大学文学部)、2001.3 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)として発表した。

(6) *Troilus and Criseyde* 以前に書かれた夢物語

詩 *The Book of the Duchess, The House of Fame, The Parliament of Fowls* の諸刊本のテキスト比較研究を行った。その成果は、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」を受領して、A. Jimura, Y. Nakao and M. Matsuo, eds. *A Comprehensive Textual Comparison of Chaucer's Dream Poetry* (Okayama: University Education Press, 2002) という形で出版し発表した。

(7) *The Legend of Good Women* (『善女列伝』) 諸刊本の計量的比較を試みた。その成果は、『コンピュータによるチョーサーの『善女列伝』諸刊本の計量的比較』(平成13年度~平成14年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書、研究代表者 地村彰之、広島大学文学部)、2003.3 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)として発表した。

(8) *The Romaunt of the Rose* 『薔薇物語』 諸刊本のテキスト比較を行った。その成果は『コンピュータによるチョーサーの『薔薇物語』諸刊本の計量的比較』(平成17年度~平成18年度 科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書、研究代表者 地村彰之、広島大学大学院文学研究科)、2007.3 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)として発表した。

2. 研究の目的

(1) 本研究の目的は、コンピュータを利用し、ジェフリー・チョーサーの英語の語彙・統語・文体を総合的に研究し、チョーサーの textual criticism に貢献することにある。

(2) 今回 *Boece* 諸刊本を比較することによって、初期作品群のテキスト、*Troilus and Criseyde, The Canterbury Tales, The Legend of Good Women* との言語的連続性を見だし、ひいてはチョーサー自身の言語再建への糸口を見つけることを目的とする。特に今回はチョーサーの散文の言語についてテキスト比較を試みることによって、チョーサーの言語を総合的に見ることをめざしている。

3. 研究の方法

(1) 上記研究目的を達成するために、『ボエス』諸刊本のデータ入力を行い、その共通点・相違点について対照的に整理する。この整理のためにパソコンを利用し、下記の手順で研究を進める。*Boece* の Benson 版 (*The Riverside Chaucer* (Boston: Houghton Mifflin, 1987)), Robinson 版 (*The Works of Geoffrey*

Chaucer (Boston: Houghton Mifflin, 1957)), Skeat 版 (*The Works of Geoffrey Chaucer* (Oxford: OUP, 1894¹, 1899², 1926, 1952, 1963)) という3つのテキストデータを比較分析する。

(2) テキストの語彙に主たる焦点を当てて、テキスト比較ができるようにパソコンで処理し、特に相違がみられるところは、写本にさかのぼって調査しその理由について考察する。このためのプログラムについては、共同研究者松尾(1994)の手法と成果を利用した。

(3) 連合王国、Oxford 大学セントピーターズ学寮 Hoad 教授に研究経過を報告し、指導・助言を受けた。

4. 研究成果

(1) データ入力及び整理、語彙文体調査をする。研究分担者松尾は、プログラムの作成及び計量分析をし、データ入力後、各編集テキストの異同が一目でわかる冊子を作成した。

(2) 地村彰之、中尾佳行、松尾雅嗣の3名が2008年7月、連合王国・スウォンジー大学で開催された第16回新チョーサー協会国際大会(平成20年7月17日～平成20年7月23日)に出席し発表した学会での成果の意義・波及効果は以下のとおりである。
(a) Collation という方法とそれに基づく統計的実証データを提示した報告は高い評価を得、本研究が国際的にも最先端をいくものであることが確認できた。また、報告に対する質問、例えば写本における飾り文字の一瞥の出現頻度に関する質問や評言は、今後研究方向を考える上で大いに参考になった。

(b) Estelle Stubbs 博士などチョーサーの写本研究の専門家との意見交換は、本研究の進展に大いに参考になった。

(c) 本研究は、世界におけるチョーサーの本文校訂研究に大きく貢献するものであると考えられる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

① Nakao, Yoshiyuki, Akiyuki Jimura, Masatsugu Matsuo, “A Project for a Comprehensive Collation of the Two Manuscripts (Hengwrt and Ellesmere) and the Two Editions (Blake[1980] and Benson[1987]) of *The Canterbury Tales*,” *Hiroshima Studies in English Language and Literature*, Vol. 53, 1-22, 2009、査読有

② 地村彰之、「Chaucer の写本と刊本における「接頭辞 y- 付き過去分詞」覚書」『IPSHU 研究報告シリーズ研究報告』No. 42 (松尾雅嗣教授退職記念論文集) 373-383、2009、査読無

③ 地村彰之、「英語史における異形の一極化について」、『英語青年』158 巻、45-48、2007、査読有

④ 地村彰之、「接頭辞 y- 付き過去分詞の衰退について」、『英語青年』157 巻、40-43、2007、査読有

[学会発表] (計4件)

① 地村彰之、「古期英語の伝統と刷新—「海ゆく人」の継承」ヨーロッパ中世研究会シンポジウム「中世ヨーロッパにおける伝統と刷新」、2008年11月13日、広島大学文学研究科

② Nakao, Yoshiyuki, Akiyuki Jimura, Masatsugu Matsuo, “A Project for a Comprehensive Collation of the Two Manuscripts (Hengwrt and Ellesmere) and the Two Editions (Blake[1980] and Benson[1987]) of *The Canterbury Tales*,” the 16th Congress of New Chaucer Society, 19 July, 2008, Swansea University, Wales, United Kingdom

③ 地村彰之、「*The House of Fame* と *The Merchant's Tale* における五感の表現—真実と嘘をめぐる—」シンポジウム「Chaucer の愛のテーマと五感の表現—その感覚表現の特徴—」日本中世英語英文学会第24回西支部例会、2008年6月14日、関西外国語大学

④ 地村彰之、「*The Canterbury Tales* Cambridge University Library MS GG.4.27 について」第23回日本中世英語英文学会、2007年12月8日、駒澤大学

[図書] (計5件)

① Jimura, Akiyuki, Yoshiyuki Nakao, Masatsugu Matsuo, “‘The General Prologue’ to *The Canterbury Tales*: A Comprehensive Collation of the Two Manuscripts (Hengwrt and Ellesmere) and the Two Editions (Blake[1980] and Benson[1987]),” *The Hiroshima University Studies, Graduate School of Letters* 68, Special Issue, 2008、査読無、vi + 63

② 水田英美、山代宏道、中尾佳行、地村彰之、原野昇『中世ヨーロッパにおける笑い』溪水社、2008、査読有、185

③ 水田英美、山代宏道、中尾佳行、地村彰之、

原野昇『中世ヨーロッパにおける女と男』溪水社、2007、査読有、189

④ Jimura, Akiyuki, “Manuscripts and Texts in Chaucer's Works: An Approach to Exclusion and Tolerance for Texts,” *Manuscripts and Texts in Chaucer's Works: An Approach to Exclusion and Tolerance for Texts*, Eihosha, 248-261, 2007、査読無

⑤ Jimura, Akiyuki, “Chaucer's Multiple Ways of Thinking: With Special Reference to Proverbial Expressions,” *Language and Beyond: Festschrift for Hiroshi Yonekura on the Occasion of His 65th Birthday*, Eichosha, 265-283, 2007、査読無

6. 研究組織

(1) 研究代表者

地村 彰之 (JIMURA AKIYUKI)
広島大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：00131409

(2) 研究分担者

松尾 雅嗣 (MATSUO MASATSUGU)
広島大学・平和科学研究センター・教授
研究者番号：40106787

中尾 佳行 (NAKAO YOSHIYUKI)
広島大学・大学院教育学研究科・教授
研究者番号：10136153

(3) 連携研究者